

インタビュー

有力食品容器メーカーの北原産業（岡山県倉敷市、〒086・526・3004）は、化成品と紙製品の両分野において、優れた技術開発力と独自のアイデアにより豊富な実績を築いてきた。社会情勢が変容する中、顧客ニーズに対応した事業活動を進めるとともに、アップター



北原産業
代表取締役
北原 忠氏

コロナを見据えた提案に注力している。同社の北原忠社長に展覧を聞いた。

◆ 新型コロナウイルスの感染拡大は、社会に多大な影響を及ぼしています。従前と異なる環境にありますが、当社は暮らしに必要不可欠な食品容器を供給するメーカーとしての使命

ニーズ捉えた提案を加速

新たな時代に適応した開発を

感を持ち、徹底的な感染対策を講じながら、誠意を持ってお客様さまへの営業活動を継続しております。

◆ 一方で、国内的には業務効率化を推進する機会ともなりま

◆ 一方、紙製弁当容器などは、紙質の高いつまみ、利益率の低い付加価値製品の動きが鈍く、難しい局面と

◆ その反面、スーパーなどの個別包装ニーズを捉えた汎用フードパックは、出荷数

◆ また、テークアウト・デリバリー関連も堅調に推移しています。

◆ 宣言の解除以降も、飲食業ではテークアウト販売が売上を底支えしており、これらのアイテムは継続的に受注をいただいています。市場への定着を図るべく、ますます開発を強化する構えです。

◆ しかしこうした需要も、当社が得意とする分野での損失を補填するには至っており、業容全体を見れば依然として厳しい状況にありま

した。各事業所では変則出勤やテレワーク対応など勤務体制を見直すとともに、ウェブ会議での情報共有なども率先して導入しました。コロナ禍の取り組みで得

◆ 期に緊急事態宣言が発令されたこともあり、大きな打撃を受けました。また冠婚葬祭などの催しも強まることにより、個別包装用の特化した統合フードパックを新たに投入するなど、

◆ 量を増やしていきながら、新規顧客の要望も増加していることから、供給体制を強化するとともに、個

◆ 市するなど、積極的な拡充に取り組んでいます。用途に合わせて中皿や蓋を選べる弁当容器「STMシリーズ」など機能性にこだわった製品のほか、多様な仕切り

す。また、新型コロナウイルスの収束が見通せない中、今後も関連市場の停滞は続くものと認識しております。

◆ そうした状況下、当社では利益確保に努めるとともに、独自の技術力や先を見据えた発想によって、来たる「アップター」に対応する考えです。一刻一刻と変化する社会では、従来なかったニーズも生じています。これからの時代に適応した新たな開発により、逆境を事業拡大への好機へと転換してまいります。



愛の力で 逃さない。
タイトカップ
シリーズ

タイトシリーズ
嵌合容器
TIGHT
Series A-PET樹脂



株式会社 **北原産業**

本社 〒710-0298 岡山県倉敷市新倉敷駅前5丁目141番地 TEL. (086) 526-3040(代) FAX. (086) 525-1322
東京支店 〒104-0041 東京都中央区新富1丁目13番26号(新富TTビル) TEL. (03) 5541-7366(代) FAX. (03) 5541-8306
URL : <http://www.starpac.co.jp/> E-mail : info@starpac.co.jp